



ほろいずみ ニュース No. 166

発行：えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日：令和4年2月1日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL：01466-2-2410 E-mail：erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

◆ 体験陶芸教室のお知らせ ◆

陶芸が初めての方も、この機会に挑戦してみませんか？

マグカップや器など、みなさんの好きなものを作りましょう！

と き：2月25日、3月4日、3月18日

毎週金曜日(全行程3回)

時 間：午前の部： 9時30分～12時

夜の部：18時30分～21時

会 場：えりも町郷土資料館 体験学習室

参加費：粘土1kgにつき700円(黒粘土は、730円)

※1人2kgまで

定 員：各8名(先着順、小学生以下は保護者同伴)

※参加申込、お問合せは、郷土資料館(2-2410)まで

その他：新型コロナウイルス感染対策をとり実施します。

- ・参加対象者は、えりも町民のみとさせていただきます。
- ・マスク着用、手指消毒。

※町内外の感染状況等により、中止する場合があります。



写真：昨年2月に開催した「体験陶芸教室」参加者の作品

地名の由来 ～ キスケ ～

苫別地区のキスケ川と、道道と交わる周辺ところに、キスケ橋があります。

キスケの原名は「キシケ」で、語源は「キ・シケ・イ」(Ki-sike-i 茅・背負う・所)という意味です。

この付近は、湿地帯で海岸近くまで茅原が続いていて、アイヌ家屋、小屋作りの材料となる茅を刈っていたと考えられます。

永田地名解は「Kishkep キスケプ 荷物ヲ負フ処、荷物ヲ馬脊又ハ人雇ニ負フヲ「キスケ」ト云フ」とありますが誤りです。

「東蝦夷廻浦図絵(ひがしえぞかいほずえ)」によれば、「キシキベツ」とあり、「ベツ」を付して(Kisike-pet 茅を背負う沢)、原名とも考えられます。



写真：道道襟裳公園線（岬側）からキスケ橋を撮影

郷土資料館講演会について

広報えりも2月号、「2月の行事予定」に掲載されております2月18日(金)開催の「郷土資料館講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大により、北海道に「まん延防止等重点措置」が発令されたことから、3月に延期いたします。

日程が決まり次第通知します。

展示室にQRコードを設置しました。



資料館を来館された方に、町内の文化財等について、より詳しく知ってもらうため、郷土資料館・水産の館展示室にQRコードを設置しました。

携帯電話等のバーコードリーダーで読み込んでいただくと、郷土資料館ホームページにリンクし、文化財の詳しい情報や町内の昔話などを閲覧することができます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、非接触の解説としても利用しています。

※郷土資料館内にWi-Fi環境はありません。

2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	3/1	2	3	4	5	6
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	休館日	○	休館日	体験陶芸教室	○	○	○	休館日	○	○	体験陶芸教室	○	○

2月～3月の
開館カレンダー